

令和5年

4.1^土 - 6.11^日

橿原神宮宝物館

奈良県橿原市久米町 934
0744-22-3271

土日祝 9時～16時

平日 10時～15時

*臨時休館日あり

*5月1日・2日は9時～16時

大人 300円 / 中高生 200円

*小学生以下無料

*20名以上の団体は1割引



歴史街道
KEKISHI KADO

橿原神宮宝物館 企画展

織田有楽斎と

柳本陣屋御殿

Handwritten calligraphy in black ink on a light background, including the characters '織田有楽斎' and '柳本陣屋御殿'.

〈織田頼長讃 顔輝筆 達磨図部分〉
ふそく成と われかかたらに
ならしませ むかしは
達磨 今八道八
わか影トなかめなからも
世のうきめ
しらすかほこそ
浦山しけれ



橿原神宮文華殿 (柳本陣屋御殿)



顔輝筆・織田頼長讃「達磨図」(写し)

檀原神宮の境内には、文華殿と呼ばれる建物があります。これは、かつて柳本藩の陣屋御殿として天保15年(1844)に建設されたもので、昭和41年(1966)に天理市柳本町より移築しました。文華殿は江戸後期の大名居館の格式を今に伝える点が評価され重要文化財に指定されています。

現在、令和2年より奈良県に委託して保存修理が進められています。建物全体を持ち上げる揚屋工事を含む修理は6年にわたり行われます。本年4月～5月に実施される修理中の内部公開に合わせて、御殿内を装飾する「鳳凰の欄間」や、織田有楽斎ゆかりの顔輝筆・織田頼長讃「達磨図」(写し)などを展示します。

柳本藩ってどこ？



柳本藩は元和元年(1615)、織田有楽斎の五男・尚長が、大和国に一万石を分領されて成立した外様の小藩です。現在の奈良県天理市南部と、桜井市北部を通る国道169号線周辺～その東側山間部にあたります。江戸期を通じて織田家が藩主として治めました。明治4年(1871)の廃藩置県で柳本県が置かれますが、後に奈良県へ編入されて現在にいたります。

織田有楽斎ってだれ？



織田有楽斎(長益)は、織田信長の弟として天文16年(1547)に生まれました。本能寺の変の後は豊臣秀吉に仕えますが、関ヶ原の戦いでは徳川家康方(東軍)につきましました。大坂冬の陣で豊臣方の盟主となりますが、夏の陣には参加せず京都の建仁寺で隠棲します。茶の湯を千利休に学び、有楽斎と名乗り茶人として過ごしました。有楽斎の系統が大和国芝村藩主・大和国柳本藩主となり織田家は諸侯として存続します。今回展示する「達磨図」は、信長→有楽斎→頼長(有楽斎二男)と伝えられたものの写しと考えられます。



柳本陣屋御殿 鳳凰の欄間(写真提供/奈良県)

期間中、神武天皇陵に関する絵図など各種史料のミニ展示もご覧頂けます。



展示ご観覧後
アンケート回答で
粗品プレゼント!



アクセス

近鉄「檀原神宮前駅」(中央出口)から徒歩約10分
【大阪方面】葛城ICから大和高田バイパス經由
【名古屋方面】檀原北ICから大和高田バイパス經由
駐車場(約800台)



檀原神宮 HP

春の特別参拝と重要文化財 織田家柳本陣屋御殿「文華殿」特別公開(4月22日・23日、4月29日～5月7日)については、檀原神宮公式ホームページをご覧ください。